

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	コンテンツ企画論 (Contents Design)		
ナンバリングコード	P21103	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 標準レベル 情報デザイン基礎
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	コース必修:メディアデザインコース コース選択必修:情報コミュコース 選択:情報工学コース、こども・情報教育コース		
授業コード	P110351	クラス名	-
担当教員名	坪倉 篤志		
履修上の注意、履修条件	基本的なWindows PCの操作(ソフトウェア起動終了、日本語入力、ファイル処理等)と学内LANの利用(Webからの情報収集、メール等)ができること。演習内容を重視するので、出席を欠かさないうで下さい。CG関連授業で学習する程度にPhotoshop / Illustratorを用いた制作ができること。著作権・肖像権などを理解した、課題への取り組みが必要です。他、備考欄を参照してください。		
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。□		
参考文献及び指定図書	ペーパープロトタイピング、人間工学ガイド 感性を科学する方法 知的CAIシステム、MIND HACKS Tom Stafford, Matt Webb 著		
関連科目	コンピュータグラフィックス基礎、Webアニメーション、Webプランニング論、デジタルコンテンツ論、映像企画・取材学、広告デザイン		

○授業の目的・概要等							
授業の目的	<p>システムを含むデジタルコンテンツ全般の企画立案に向けた座学と実践演習に取り組む。これらから、デジタルコンテンツの企画立案に向けた基礎能力の知識と実践能力を学習する。本授業では自ら分析し、考え、発案・発想する能力の育成にフォーカスして、学習に取り組む。</p> <p>ビジネスにおいて様々な場面でアイデア出しや、企画立案から、形にしていくプロセスがあります。このプロセスを個人やグループで、様々な手法を用いて取り組みます。</p>						
授業の概要	<p>視覚認知と理解、コンテンツの企画と立案方法、発想方法について学習と演習にも取り組む。次に社会で利用されている代表的なコンテンツの、事例分析を行い、分析結果をグループ内でディスカッションから、他学習者による多角的な分析に触れる。指定したコンテンツの企画立案について、個人やグループで複数回取り組み、ドラフトの作成からプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションでは、相互評価と振り返り学習に取り組む。以上から、企画立案の基礎能力と実践能力を習得する。</p>						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>PBL(プロジェクト型授業) 他</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習等形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	PBL(プロジェクト型授業) 他
(1) 授業の形式	「演習等形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	PBL(プロジェクト型授業) 他						
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	人の興味を惹くコンテンツの企画ができる。		15点	10点
【知識・理解】	視知覚、学習と理解、コンテンツ企画		15点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	クリティカルシンキング、ブレインストーミング、グループワーク、ロジカルシンキング		15点	10点
【思考・判断・創造】	人を動かすきっかけや心理を考察できる。		15点	10点

  

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
レポートの提出、レポートの記載内容 課題やワークへの取り組み  フィードバック方法 ・課題:LMSにてコメントバックと評価、次回授業で講評と解説

○その他
<p>授業時はもちろん、課外の予習復習(自習)を通して、これらの目標が達成できるように学習を進めてください。課題提出を重視します。毎回ステップアップ型で授業を進めますので、出席を欠かさないでください。プレゼンテーションや相互評価は必須取り組み事項です。</p> <p>出席登録は授業開始最初の10分、遅刻登録は授業開始最初の20分までとする。所定のシステムで、所定の時間内に、各自で登録作業を下さい。登録無き場合、欠席と記録します。演習では、教員が指定するWebシステムやサーバを用います。</p> <p>第1回授業時に受講場所を申請していただきます。申請場所以外での受講は受講と認めません。受講場所を変更する場合は、前受講回時に相談をすること。出席状況・課題提出状況が芳しく無い場合、受講場所を学内に変更するよう指示します。授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、受講生の進捗状況や、社会情勢を考慮しながら、再調整することがあります。</p> <p>課題への評価は、翌授業回の朝に行います。課題の評価が低い場合、点数が付いていない場合、必ず再度取り組み、再提出下さい。課された課題への取り組みが非常に重要です。さらに各自でさらなる技能修得や知識の応用など、自主的な取り組みが非常に重要です。課題などへの取り組みは、友人などと相談して取り組むこと可能です。ただし、必ず自分一人で、資料などを参考にせず、問題解決できる能力を修得してください。(試験などは各個人での取り組みです)スケジュール管理、タスク管理も非常に重要です。授業での課題、演習を通して修得下さい。</p> <p>授業内でのスマホの利用は、利用を許可するアナウンスが無い時間帯以外は禁じます。授業内はスマホの電源OFF、カバンの中に片付けていることを前提とします。利用を許可する場合、机の上で、授業に関係する内容での利用に限ります。授業中の無断退席や、授業中の姿勢、授業への取り組みも評価対象です。(授業への取り組みが無いと判断できる場合、事前告知なしに早退や欠席と判断する場合があります。)</p> <p>課題への取り組みと提出は、特に指定がない限り、各個人での取り組みと提出になります。他人の提出物を複製した提出物は評価対象外です。著作権を含む法令違反のある提出物は、評価対象外とします。後に明らかになった場合、全ての評価結果を見直す場合があります。</p>

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画 科目名：コンテンツ企画論 (Contents Design) 担当教員：坪倉 篤志 授業コード：P110351	○授業計画 科目名：コンテンツ企画論 (Contents Design) 担当教員：坪倉 篤志 授業コード：P110351
学修内容	学修内容
<p><b>1. ガイダンス、認知科学入門:視覚認知</b> コンテンツ企画立案に向け、全体的なガイダンスを行います。また必要となる基礎知識として、視覚認知について学びます</p>	<p><b>9. 企画立案演習1(3/3):プレゼンテーション、相互評価、企画書のリライト</b> 各自で立てた企画の発表に取り組みます。自身での発表から、プレゼンに向けた準備、発表方法について実践演習を行います。また他学習者の発表から様々な学習に取り組みます。</p>
<p>予習：世の中にあるコンテンツの企画立案について調査しておきなさい (約2.0h) 復習：配布資料の空白の記入と、アーティスト、科学者、ビジネスクリエイターの違いについてまとめなさい (約2.0h)</p>	<p>予習：プレゼンのリハーサルを行っておきなさい。 (約2.0h) 復習：今回の取り組みでできなかった部分について、取り組んでおきなさい。 (約2.0h)</p>
<p><b>2. 認知科学入門:理解、わかるとは？</b> 認知科学の視点より、「わかる」とは？について学習に取り組みます。</p>	<p><b>10. 企画立案演習2(1/2):企画立案:情報分析・企画書作成(グループワーク)</b> テーマに沿って、企画立案のグループワークに取り組みます。その中で、今回は、企画立案に向けた取り組みを行います。</p>
<p>予習：わかりやすいコンテンツの設計について考えなさい (約2.0h) 復習：配布資料の空白の記入と、「理解」「わかる」について違いをまとめなさい。 (約2.0h)</p>	<p>予習：前回の取り組みから、改善案について考えておきなさい。 (約2.0h) 復習：グループでの取り組みで各自が担当した部分について取り組みなさい(取材など) (約2.0h)</p>
<p><b>3. コンテンツの企画と立案、コンテンツの種類と接し方</b> 世の中にあるコンテンツの種類や、企画立案について学びます。</p>	<p><b>11. 企画立案演習2(2/2):プレゼン資料作成、ドラフト作成(グループワーク)</b> テーマに沿って、企画立案のグループワークに取り組みます。その中で、今回は、立案した企画のプレゼン資料の準備に取り組みます。</p>
<p>予習：ビジネスコンテンツの設計について調査しなさい (約2.0h) 復習：ビジネスコンテンツにおける、企業・クライアント・顧客・消費者の関係を図示しなさい。 (約2.0h)</p>	<p>予習：各自が担当した部分をまとめておきなさい。 (約2.0h) 復習：今回の取り組みについて振り返り、改善案について考えなさい。 (約2.0h)</p>
<p><b>4. 発想法と演習(ブレインストーミング、連想ネット、クリティカルシンキング)</b> 企画立案に向けた発想法について、演習形式で学びます。</p>	<p><b>12. 企画立案演習3(1/4):企画立案:情報分析・企画書作成</b> キー課題として、テーマに沿った個人での企画立案演習に取り組みます。まずは、企画の立案に取り組みます。</p>
<p>予習：ブレインストーミングについて調査しなさい (約2.0h) 復習：モノト分析と、ターゲット層分析にとりくみなさい。 (約2.0h)</p>	<p>予習：これまでの取り組みを振り返り、改善方法について準備しておきなさい。 (約2.0h) 復習：企画案の見直しを何度も行っておきなさい。 (約2.0h)</p>
<p><b>5. 事例分析演習1・グループディスカッション</b> 具体的な広報具材を用いた、事例分析に取り組みます。方法は、各自で事前に分析した後にグループで分析に取り組みます。</p>	<p><b>13. 企画立案演習3:立案した企画の見直し(相互評価)</b> キー課題として、前回立てた企画を用い、相互評価と自身の企画見直しに取り組みます。これらより、よりよい企画に仕上げます。</p>
<p>予習：モノト分析と、ターゲット層分析の資料を見直しておきなさい (約2.0h) 復習：授業で取り組まなかったテーマに対して、モノト分析、ターゲット層分析に取り組みなさい。 (約2.0h)</p>	<p>予習：企画案をまとめておきなさい。 (約2.0h) 復習：企画案の見直しと、試作作品作りに取り組みなさい。 (約2.0h)</p>
<p><b>6. 事例分析演習2・グループディスカッション</b> 具体的な広報具材を用いた、事例分析に取り組みます。方法は、各自で事前に分析した後にグループで分析に取り組みます。</p>	<p><b>14. 企画立案演習3:プレゼン資料作成、ドラフト作成</b> キー課題として、仕上がった企画のドラフトとプレゼン資料の制作に取り組みます。</p>
<p>予習：モノト分析と、ターゲット層分析の資料を見直しておきなさい (約2.0h) 復習：テーマに沿って、CMの企画立案に取り組みなさい。 (約2.0h)</p>	<p>予習：試作作品の作り込みをしなさい。 (約2.0h) 復習：プレゼン資料の準備をしておきなさい。 (約2.0h)</p>
<p><b>7. 企画立案演習1(1/3):企画立案:情報分析・企画書作成</b> テーマに沿って、企画立案の個人ワークに取り組みます。その中で、今回は、企画立案に向けた取り組みを行います。</p>	<p><b>15. 企画立案演習3:プレゼンテーション、相互評価、企画書のリライト</b> 各自で立てた企画の発表に取り組みます。自身での発表から、プレゼンに向けた準備、発表方法について実践演習を行います。また他学習者の発表から様々な学習に取り組みます。</p>
<p>予習：企画立案演習を予定しています。これまでの配布資料を見直しておきなさい。 (約2.0h) 復習：立案している企画についてブラッシュアップに取り組みなさい。 (約2.0h)</p>	<p>予習：試作作品を提出しておきなさい。プレゼン資料を完成させ、発表練習をしておきなさい。 (約2.0h) 復習：今期の取り組みについて振り返りなさい。未提出課題などについては再取り組みと再提出をしなさい。 (約2.0h)</p>
<p><b>8. 企画立案演習1(2/3):プレゼン資料作成、ドラフト作成</b> テーマに沿って、企画立案の個人ワークに取り組みます。その中で、今回は、立案した企画のプレゼン資料の準備に取り組みます。</p>	<p><b>16.</b></p>
<p>予習：企画案を仕上げなさい。 (約2.0h) 復習：ドラフトとプレゼン資料を完成させなさい。 (約2.0h)</p>	<p>予習： 復習：</p>